

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和3年度市営ニュー堅粕住宅(その2地区)	階数	地上11F
建設地	福岡県福岡市博多区2丁目26の一丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	198 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年9月1日
敷地面積	3,187 m ²	作成者	藤井捷伍
建築面積	653 m ²	確認日	2021年9月1日
延床面積	5,391 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	コミュニティスペースを設け、歩車道分離を計り、環境の良い空間を計画した。敷地内に緑地空間を設けた。周囲の景観に調和するようシンプルな外観デザインとした。	その他
Q1 室内環境	F☆☆☆☆建材を使用し、室内環境に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LED照明を室内外に採用した。南面のバルコニーによる日射遮蔽効果を図り、外壁・屋根には適切な断熱材を設け高い断熱効果を図った。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	更新必要間隔の長い給排水配管を採用し耐久性に努めた。バリアフリーに対応し、高齢者に配慮した。二重床構造により設備配管スペースを確保した。	
LR2 資源・マテリアル	シックハウス対策を取り入れた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される